

不安障害の診断と認知行動療法適応の判定

評価者氏名()

治療開始前の評価日 (年 月 日)

患者氏名() 性別 (男 女) 年齢()歳

上記患者は、

1、不安障害が主診断である(DSM-IVの診断基準を満たしている)

- パニック障害
- 広場恐怖
- 特定の恐怖症
- 社交不安障害
- 全般性不安障害
- 強迫性障害
- PTSD
- その他の不安障害

2、合併する精神疾患の有無と認知行動療法の適応の有無

単一の不安障害が主診断であり、他に重篤な合併精神疾患を有しない患者である

⇒ 認知行動療法の標準適応の患者である

不安障害が主診断であるが、複数の不安障害を合併していたり、大うつ病性障害を有していたりなど、他に重篤な合併精神疾患を有する患者である

- 複数の不安障害を合併(具体的に疾患名)
- 大うつ病性障害を合併
- 気分変調症性障害を合併
- パーソナリティ障害を合併(具体的に疾患名)
- 広汎性発達障害を合併(具体的に疾患名)
- その他の精神疾患を合併(具体的に疾患名)

⇒ 認知行動療法の拡大適応(標準適応でない)の患者である

認知行動療法の適応でない患者である

(具体的な理由を記述)

以上